

期待できる効果

酸化ストレス対策

光合成促進

品質・収量の向上

▼ 含有成分量

可給態リン酸 (P_2O_5)	4%
水溶性カリウム (K_2O)	20%
カルシウム (Ca)	14%
硫黄 (S)	7%

特長

- ・最先端の技術により、植物が吸収しやすいように工夫されたカリウム、カルシウムとリン酸、硫黄を高効率で供給すると共に過酸化カルシウムが適度に酸素を供給。
- ・可溶性炭素化合物により抗酸化物質の生成を促進し、代謝・生育を確保。
- ・光合成を促進すると共に、環境ストレス（特に高温）を軽減し、品質や収量の向上に貢献。

ポイント解説

環境ストレスの中でも、高温状況下においては、多量の活性酸素が発生して、植物の様々な組織にダメージを与え、特に光合成量を減少させます。
植物が自ら持っている抗酸化物質の生成を促進させることも、重要なカギとなります。

施用量

※あくまで、目安となります。作物によって、多少の違いがあります。

酸化ストレス対策	100～500 g /10アール	1～2週間隔
光合成促進	100～500 g /10アール	1～2週間隔
品質・収量の向上	100～500 g /10アール	1～2週間隔

顆粒水和材



灌注、スプレー散布などの散布方法に関わらず、施用面積10アールに対して水量500L、本製品250gでご使用の場合、希釈倍率は2,000倍となります。

荷姿： □9kg □1kg

GROWING BEYOND

オキシカル

主な栄養素の含有%

N	P	K	Ca
-	4	20	14

オキシカルご利用上の注意

オキシカルは反応性の高い資材のため、リドックス資材以外との混合は推奨しません
タンク投入口のフィルターは外してからの投入を推奨します。

- ①最初に使用する水の1/4量をタンクに注入する
- ②攪拌しながらオキシカルと水を少量ずつ投入する
- ③オキシカルはパラパラと塊ができないように投入する
※一度に大量に投入すると急激な発泡を伴う発熱の恐れがあります
- ④泡の発生が収まるまで待つ（泡が多い場合は消泡剤を投入）
- ⑤この後、他の資材（肥料、浸透剤などと混合する場合、pHの高い資材（右表参照）から順に混合する

Redox製品のpH目安

製品名	希釈倍率	pH
オキシカル	1%溶液	7.0-8.0
H-85	1%溶液	10.8-11.8
ダイカップ	1%溶液	10.4-11.4
プラチナ	原液	11.5-12.5
CaSi	原液	9.5-11.0
Mg	1%溶液	9.6-10.6
Ca	原液	7.0-9.0
ペネカル	原液	7.0-8.0
ルーテックス	1%溶液	5.0-6.0
ネイチャーキュア	原液	4.0-5.0
スプリーム	1%溶液	3.0-4.0
マイクロ	1%溶液	2.2-3.0

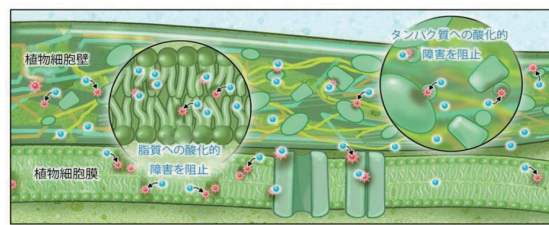
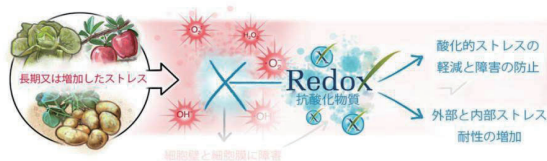
酸化ストレス対策

酸化ストレスとは？

植物は常に気候・土壌環境・栄養バランスなどの環境的なストレスに晒されています。環境ストレスが増大すると、植物体内では活性酸素やフリーラジカルといった物質が徐々に蓄積していき、これらは植物体内の細胞を傷つけていきます。このように活性酸素などによる植物体内の細胞への損傷を酸化ストレスといいます。この酸化ストレスが起因となり、病気や軟弱化によって生育や収量に大きな損害を与えることとなります。

酸化ストレス対策（オキシカル）

オキシカルは過酸化カルシウムによる酸素とカルシウムの適度な供給と硫黄やカルシウムによる植物代謝の改善により、ストレスに対する耐性を底上げします。



抗酸化物質が活性酸素を消去し
酸化ストレスを軽減！

